石巻専修大学

●「石巻専修大学」ホームページ● http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

代表電話番号 0225(22)7711
広報専用FAX 0225(22)7809

「夢の実現」に決意も新た

2015年度入学式

暖かな春の日差しが降り注いだ4月4日、2015年度の石巻専修大学入学式が本学体育館で盛大に行われた。今年度は理工学部135人、経営学部119人、人間学部68人の学部生322人と、大学院生5人が入学。多くのご父母・保護者や家族、来賓、教職員らが見守る中、初々しいスーツ姿で式に臨んだ新入生たちは大きな期待を胸に大学生活をスタートさせた。

▶ 式辞を述べる坂田学長

「努力が全て」
坂田学長式辞

坂田隆学長は式辞で「大学の授業は勉強のきっかけです。『面白そうだ』と感じたことに自ら取り組むことが大切です。ただし一人で本を読むだけでなく、教員や上級生や仲間といった生身の人間と議論するという、もっとも大学生らしい部分を大切にしてください」と、自身の大学院生時代の経験を踏まえながら、大学で学ぶ意義を説明した。

また、サークル活動などの課外活動や学生・教職員が共同で実践している復興共生プロジェクト、今年度から始まる1、2年次生対象のインターンシップといった本学の取り組みを紹介し、「さまざまな活動にかかわることで驚くほど成長できます。体系だった学問を学ぶとともに、こうした活動にも積極的に参加してください」と呼びかけた。

最後に「今日から始まる大学での勉強は、これまでと大きく変わります。これまでの成績を気にすることもありません。気持ちを新たにして臨んでください。これからの努力が全てです」と結んだ。

▶ 希望に満ちた表情の新入生

オリエンテーションセミナー開催

◀ 交流プログラムを通して親睦を深める新入生たち

新入生を対象とした恒例の「オリエンテーションセミナー」がホテル松島大観荘（宮城県・松島町）で、4月7、8日の1泊2日の日程で開催された。

大学生活に早く適応し理解を深めてもらおうと先輩や教員らが勉強の仕方や講義内容、時間割の組み方などを説明した。各種プログラムを通して新入生同士の親睦も深まり、充実したセミナーとなった。

経営学部長に湊教授
理工学研究科長・尾池教授

学部長、研究科長の改選が行われ、経営学部長に湊信吾教授が、大学院の理工学研究科長に尾池守教授が就任した。いずれも4月1日付で任期は2年。

日髙義博学校法人専修大学理事長、亀山紘石巻市長の祝辞に続き、大学院総代の菅原輝さん（経営学研究科修士課程経営学専攻）、学部総代の秋山幸輝さん（経営・宮城県石巻高）が宣誓。

秋山さんは「新生活のスタートに不安がありますが、それ以上に喜びと期待で胸がいっぱいです。私たちは東日本大震災から今まで、くじけそうになりながらも一歩一歩前進し続けてきました。これからの宮城や東北、そして日本を支えていくという自覚を持ち、夢や理想を実現させるために日々、努力を惜しまずに過ごしていきます」と力強く、決意の言葉を述べた。

式終了後には新入生ガイダンスを実施。また、学科ごとに分かれて教員紹介や学生・保護者懇談などが行われたほか、専修大学の創立者4人の青春物語である創立130周年記念映画『学校をつくろう』の上映会も行われた。

湊　信吾（みなと・しんご）博士（薬学）。東北大学大学院薬学研究科製薬化学専攻博士前期課程修了。1989年本学経営学部助手。2006年教授。主な担当は「マルチメディア通信論」。

尾池　守（おいけ・まもる）工学博士。東京工業大学理工学研究科博士課程修了。2002年本学理工学部教授。主な担当は「システム流体工学特論」。

国連世界防災会議パブリック・フォーラム
山崎ゼミが復興ボランティア学ワークショップ

国際的な防災戦略について議論する第3回国連世界防災会議（3月14～18日）が、仙台市を中心に開催され、本学の教員、学生もイベントに協力し、防災や減災、復興に関する取り組みを発信した。

経営学部・山崎泰央ゼミはパブリック・フォーラムの一つとして「復興ボランティア学ワークショップ」を14日、TKPガーデンシティ仙台で実施した＝写真。2013年度から本学で開講している「復興ボランティア学」の講義内容を学んでもらうもので、高校生をはじめ一般の方ら70人が参加した。内田悠之さん（現4年次・宮城県東北高）の進行でワークショップは展開され、参加者はお互いの意見を共有しながら、防災や地域問題の解決策について考えた。

同会議に関連し、本学キャンパスでもさまざまなイベントが開催された。山崎ゼミは12、13日、東日本大震災の犠牲者の冥福を祈る追悼イベント「3・11追悼の灯火」を5号館3階学生ホールで開催した。阪神淡路大震災を追悼する「1・17の集い」で使用された竹灯籠を用いた「600本の竹灯籠による灯り文字点灯」などが行われ、角田勇気さん（現4年次・宮城県涌谷高）は「神戸と石巻をつなぎ、震災の風化を防ぎたい」と意図を話した。

15日には石巻市主催の「石巻市防災シンポジウム」が森口記念館で開催された。基調講演とパネルディスカッションが行われ、本学からは庄子真岐人間学部准教授がパネラーとして登壇。東日本大震災の教訓や、共助によるまちづくりについてコメントした。

新専任教員

新たに3人が専任教員となった（4月1日付）。各教員の氏名、職名、主な担当科目は次のとおり（敬称略）。

【理工学部】

中川（なかがわ）　繭（まゆ）　助教「生物科学実験」

【経営学部】

関口（せきぐち）　駿輔（しゅんすけ）　准教授「経済学入門」「経済理論」「ゼミナール」

工藤（くどう）　周平（しゅうへい）　准教授「経営戦略論Ⅰ・Ⅱ」「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」

地域貢献ハンドブック3号刊行

石巻専修大学が取り組んでいる地域貢献活動をまとめた「地域貢献ハンドブック」（A4判36ページ）第3号＝写真＝が刊行された。

市民に本学の取り組みを知ってもらうことを目的に、2010年に05～10年度の活動をまとめた第1号を刊行。東日本大震災の影響で取りまとめが滞っていたが、今号では、学習支援活動、産学官連携活動、復興共生プロジェクトなどの項目別に2011年以降4年間の活動実績を紹介している。

また、開放されている大学施設や出前授業のテーマ一覧などの情報も掲載されている。

本学本館1階などで配布中。